

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 5 年 10 月 26 日

公表:令和 6年 1月 22日

事業所名 S.I.C.KIDS安城校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		指導訓練室を2つ用意し、ご利用者様が安全に活動できるよう配慮しています。	個々の利用者様に合った環境を整えてまいります。
	2 職員の配置数は適切である	○		基準上適切な指導員を配置しています。	今後も適切な配置を心掛けてまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		各部屋がどのような場所か分かりやすいように掲示しています。また移動範囲に障害物がないように配慮しています。	トイレ入口に段差があるので段差で転ばないように声掛けや必要であればスロープ等を検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		掃除、消毒、換気を徹底して実施しています。	ご利用者様が活動に集中しやすいように教具の配置や指導訓練室を区切って使用していきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的に業務改善に必要な職員会議や毎日の朝礼、終礼により全職員への情報共有を徹底しています。	日頃の療育を振り返り、改善に繋がるようにミーティングを行ってまいります。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている			今回が初めての評価になります。	ご利用者様からの評価、意見を基により良い事業所を目指して業務の改善を努めてまいります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している			今回が初めての評価になります。	職員やご利用者様からの評価、意見を基により良い事業所を目指して業務の改善を努めてまいります。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者評価は行っていません。	第三者評価は実施していません。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内、外部研修に参加しています。	定期的に行い、職員の質の向上に努めてまいります。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		利用前にはアセスメントを行い、子どもの課題を職員間で検討した上で個別支援計画を作成しています。	今後も利用者様へのアセスメントやモニタリング、育児相談を基に常にご利用者様の立場に立って効果的な支援を行うよう心掛けてまいります。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		日常チェックリストやアセスメントシートを活用しています。	半年～1年に1回以上の頻度で行ってまいります。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		発達支援、家族支援を組み合わせた支援内容を作成し、地域交流をしていくための土台作りをしています。	作成された個別支援計画を基にプログラムを立てております。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画に基づいた課題を設定し、課題に沿ったプログラムを作成しております。	職員間の経験の差が出ないように、支援内容をプログラム化しています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		作成者と職員で話し合い、活動プログラムを作成しています。	様々な意見を取り入れながら活動プログラムを作成してまいります。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		支援経過記録を作成し、過去の内容を確認した上で活動プログラムを作成しています。	ご利用者様の日々の様子も見ながら活動プログラムを提案してまいります。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		お子様が必要としている力をつける為に支援計画を作成しています。	集団活動にも問題なく行動できるように支援してまいります。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		就業開始前に朝礼を行い、支援内容の確認や情報共有をして業務を開始しています。	情報を共有しながら業務の改善に努めてまいります。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		就業終了前に終礼を行い、その日に行われた支援を振り返り問題点や改善点がないか報告をしています。	ヒヤリハットや事故報告などは記録に残し、改善案を職員会議で決めています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援実施後に支援経過記録を記入しています。	支援経過記録は個別のファイルにまとめ、支援の向上資料とし、今後の検証、改善に努めてまいります。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に1回以上モニタリングを行っています。	支援の様子を見ながら支援計画の見直しが必要かどうか利用者様と相談して判断していきます。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が出席しています。	今後も児童発達支援管理責任者が参加できるようにしてまいります。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		担当者会議の招集があった際には可能な限り出席しています。	指定相談支援事業所などの担当者様と定期的に利用者様の様子などをお伝えし、連携を図ってまいります。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/		受け入れ実績がありません。	受け入れ実績がありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/		受け入れ実績がありません。	受け入れ実績がありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			利用者様からのご希望に応じてさせていただきます。	今後も必要に応じてさせていただきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		まだ実績がありません。	利用者様からのご希望があれば必要に応じてさせていただきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			招集の都度可能な限り参加しています。	研修などにも参加し、支援の質の向上に努めてまいります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			本部主催のイベントには障がいのないお子様も参加可能な旨をお伝えし、参加の呼びかけを行っています。	保育所等と交流する機会がまだありませんので事業所でもイベントを企画し開催できたらと考えています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			招集の都度児童発達支援管理責任者が出席しています。	積極的に参加し、地域との情報交換や交流を図っていきたく思います。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			支援終了後に指導員から支援内容やお子様の様子等保護者様にお伝えしています。	保護者様からご家庭や保育園等での様子を聞き情報交換をしています。伺った内容は職員間で共有していきます。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			本部主催のイベントや事業所主催の座談会を開催し、保護者様への参加呼びかけ、家族支援プログラムを行っています。	定期的を開催し、支援を行っていきたく思います。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に説明をさせていただきます。	日本語が分かりづらい方にも翻訳ツール等を使用し、分かりやすさを意識し行っていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			保護者様へは支援開始前に支援内容を説明し、同意を得ています。	分かりやすさを意識して行ってまいります。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			保護者様から相談があった際には迅速に対応しています。相談内容は職員間で共有しています。	職員からも保護者様へ積極的に声を掛け、情報交換を行ってまいります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			保護者様が参加する座談会を開催しています。	多くの方が参加しやすいように託児をしたり、定期開催をしております。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			管理者が受付窓口となり、相談があった際には迅速に対応しています。相談内容は職員間で共有しています。	事業所内だけで解決が難しい場合は関係機関と連携し解決に努めてまいります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			公式ラインやインスタグラム等のSNSで発信しています。	定期的に発信をし、利用者様への情報提供に努めてまいります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			書類は鍵付きの書庫に保管し、パソコン等はパスワードを設定しています。	使用後は施錠を徹底してまいります。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			文字だけで分かりづらい時は絵カードや写真を用いて行っています。	日本語が分かりづらい方には翻訳アプリ等を用いて齟齬がないように工夫してまいります。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		まだ実績がありません。	今後利用者様の意見を取り入れながら地域に根ざした事業運営に努めてまいります。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルを保護者様にも見えやすい場所に保管しています。	利用者様への周知を徹底していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に訓練を行っています。	様々な非常災害を想定した訓練を行っていき、職員、利用者様の安全を迅速に確保できるよう努めてまいります。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		利用前に保護者様から症状や受診状況を確認しています。	対応方法について主治医からの指示をもとに職員間で周知してまいります。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			食事提供は行っていません。	必要に応じて、主治医の指示書をいただくようにしていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットが発生した場合は報告書にまとめ職員間で共有しています。	他事業所での事例も共有し、様々な場面を想定しながら安全対策に努めてまいります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止研修を定期的に行い、研修記録を残しています。	虐待への知識を深め未然に防げるように努めてまいります。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に保護者様に説明させていただいています。必要に応じて個別支援計画書に記載し、保護者様に説明をした上でサインをいただいています。	万が一支援中に身体拘束が発生した場合は保護者様にご報告と記録を残し、今後の改善に努めてまいります。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 5 年 10 月 26 日

公表:令和 6年 1月 22日

事業所名 S.I.C.KIDS安城校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	○		指導訓練室を2つ用意し、ご利用者様が安全に活動できるように配慮しています。	個々の利用者様に合った環境を整えてまいります。
	2 職員の配置数は適切である	○		基準上適切な指導員を配置しています。	今後も適切な配置を心掛けてまいります。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		移動範囲に障害物がないように配慮しています。	トイレ入口に段差あるので段差で転ばないように声掛けや必要であればスロープ等を検討していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的に業務改善に必要な職員会議や毎日の朝礼、終礼により全職員への情報共有を徹底しています。	全職員が参画し、より良い事業所作りに努めてまいります。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている			今回が初めての評価になります。	ご利用者様からの評価、意見を基により良い事業所を目指して業務の改善を努めてまいります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している			今回が初めての評価になります。	ご利用者様からの評価、意見を基により良い事業所を目指して業務の改善を努めてまいります。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者評価は行っていません。	第三者評価は実施していません。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内、外部研修に参加しています。	定期的に行い、職員の質の向上に努めてまいります。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		利用前にはアセスメントを行い、子どもの課題を職員間で検討した上で個別支援計画を作成しています。	今後も利用者様へのアセスメントやモニタリング、育児相談を基に常にご利用者様の立場に立って効果的な支援を行うよう心掛けてまいります。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		日常チェックリストやアセスメントシートを活用しています。	半年～1年に1回以上の頻度で行ってまいります。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		作成者と職員で話し合い、活動プログラムを作成しています。	様々な意見を取り入れながら活動プログラムを作成してまいります。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		支援経過記録を作成し、過去の内容を確認した上で活動プログラムを作成しています。	ご利用者様の日々の様子も見ながらプログラムを提案してまいります。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		お子様の発達に合わせた課題を提供しています。	スモールステップで毎回、課題を考え支援を実施していきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		お子様が必要としている力をつける為に支援計画を作成しています。	集団活動でも問題なく行動できるように支援してまいります。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		就業開始前に朝礼を行い、支援内容の確認や情報共有をして業務を開始しています。	情報を共有しながら業務の改善に努めてまいります。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		就業終了前に終礼を行い、その日に行われた支援を振り返り問題点や改善点がないか報告をしています。	ヒヤリハットや事故報告などは記録に残し、改善案を職員会議で決めています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援実施後に支援経過記録を記入しています。	支援経過記録は個別のファイルにまとめ、支援の向上資料とし、今後の検証、改善に努めてまいります。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に1回以上モニタリングを行っています。	支援の様子を見ながら支援計画の見直しが必要かどうか利用者様と相談して判断していきます。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		自立支援、日常生活動作の獲得、余暇の提供等を行っています。	成功体験の積み重ねを促し、自己肯定感を育むようにしています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が出席しています。	今後も児童発達支援管理責任者が参加できるようにしてまいります。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている			受け入れ実績がありません。	利用者様からのご希望があれば必要に応じてさせていただきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			受け入れ実績がありません。	受け入れ実績がありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	受け入れ実績がありません。	必要に応じて連携体制を整えていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	まだ実績がありません。	必要に応じて情報共有させていただきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		招集の都度可能な限り参加しています。	研修などにも参加し、支援の質の向上に努めてまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		本部主催のイベントには障がいのないお子様も参加可能な旨をお伝えし、参加の呼びかけを行っています。	児童館等と交流する機会がまだありませんので事業所でもイベントを企画し開催できたらと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		招集の都度児童発達支援管理責任者が出席しています。	積極的に参加し、地域との情報交換や交流を図っていきたく思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援終了後に指導員から支援内容やお子様の様子等保護者様にお伝えしています。	保護者様からご家庭や保育園等での様子を聞き情報交換をしています。伺った内容は職員間で共有していきます。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		本部主催のイベントや事業所主催の座談会を開催し、保護者様への参加呼びかけ、家族支援プログラムを行っています。	定期的に開催し、支援を行っていきたく思います。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明をさせていただいています。	日本語が分かりづらい方にも翻訳ツール等を使用し、分かりやすさを意識し行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者様から相談があった際には迅速に対応しています。相談内容は職員間で共有しています。	職員からも保護者様へ積極的に声を掛け、情報交換を行ってまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者様が参加する座談会を開催しています。	多くの方が参加しやすいように託児をしたり、定期開催をしております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		管理者が受付窓口となり、相談があった際には迅速に対応しています。相談内容は職員間で共有しています。	事業所内だけで解決が難しい場合は関係機関と連携し解決に努めてまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		公式ラインやインスタグラム等のSNSで発信しています。	定期的に発信をし、利用者様への情報提供に努めてまいります。
	35	個人情報に十分注意している	○		書類は鍵付きの書庫に保管し、パソコン等はパスワードを設定しています。	使用後は施錠を徹底してまいります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		文字だけで分かりづらい時は絵カードや写真を用いて行っています。	日本語が分かりづらい方には翻訳アプリ等を用いて齟齬がないように工夫してまいります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	まだ実績がありません。	今後利用者様の意見を取り入れながら地域に根ざした事業運営に努めてまいります。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各マニュアルを保護者様にも見えやすい場所に保管しています。	利用者様への周知を徹底していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に訓練を行っています。	様々な非常災害を想定した訓練を行っていき、職員、利用者様の安全を迅速に確保できるよう努めてまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止研修を定期的に行い、研修記録を残しています。	虐待への知識を深め未然に防げるように努めてまいります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に保護者様に説明させていただいています。必要に応じて個別支援計画書に記載し、保護者様に説明をした上でサインをいただいています。	万が一支援中に身体拘束が発生した場合は保護者様にご報告と記録を残し、今後の改善に努めてまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			食事提供は行っていません。	必要に応じて、主治医の指示書をいただくようにしていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットが発生した場合は報告書にまとめ職員間で共有しています。	他事業所での事例も共有し、様々な場面を想定しながら安全対策に努めてまいります。

## 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

公表:令和 6 年 1 月 22 日

アンケート期間:令和 5 年 10 月 1 日 ~ 令和 5 年 12 月 29 日

事業所名 S.I.C.KIDS安城校

保護者等数(児童数) 27

回収数 22

割合 81 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	1				活動に集中できるよう環境を整えてまいります。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	1		4	職員人数を増やして受け入れ人数を増やしてほしいです。	より多くの方にご利用いただけるよう対応してまいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	22					ご利用者様に分かりやすいよう工夫してまいります。その他必要な際には追加してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	22					定期的な清掃、アルコール除菌等を行い、清潔な空間で活動できるようしていきます。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	21			1	定期的に面談させていただいています。	ご利用者様へはモニタリングを含め定期的な面談、ご相談をさせていただけるよう努めてまいります。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18	1		3	子ども自身がチャレンジしたくなるような気持ちになってくれると嬉しいと思う。なかなかやる気になっているか分からない所がある。	ご利用者様それぞれに合わせた支援ができるよう質の向上に努めてまいります。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	21			1		職員一同、情報共有をしっかりと行いながら支援を行ってまいります。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17	2		3	定期的なカリキュラムの相談があるといい。	ご利用者様と6ヶ月に一度以上の上、その時に合ったプログラムを作成していきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	6		8		利用者様からのご希望に応じてさせていただきます。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22					今後も丁寧な説明を心掛けてまいります。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	21		1			ご利用者様に分かりやすいよう、丁寧に説明してまいります。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	12	2	2	6	家で出来るトレーニングも教えてほしいです。	お子様だけではなく保護者様への支援にも尽力してまいります。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	20	1	1		子どもの発達状況や課題についての話はあまり機会がないように思う。	保護者様と定期的に課題や現在の状況等の情報交換を行ってまいります。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	1		5	モニタリングや座談会が定期的に開催されている。	モニタリングや個別の面談の機会を設けていきたいと思えます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	18	1	1	2	父母の会や保護者会があることを知らない。	今後も座談会等にて保護者様同士での相談もできる機会を作っていきたいと思えます。

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	21			1		児発管を中心に窓口とし、相談や申し入れがあった際には解決されるよう対応してまいります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	1		2		職員とお話する機会をご利用時に設けさせていただいています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14	2	2	4		SNS、ホームページを中心に情報を公開させていただいています。今後も細かな情報を配信してまいります。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	20			2		外部に漏れないよう徹底して管理してまいります。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	9	5	1	7	訓練の実施が分からない。	ご利用様への周知不足でしたので周知していただけるよう説明する機会を設けてまいります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	2	1	12		お子様を含めた避難訓練計画を推進してまいります。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	22				とても楽しみにして通っています。	これからもご利用者様が楽しめるよう努めてまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	21	1			何をして過ごしたかだけでなく、どんな効果があるか教えてほしいです。	ご利用者様に満足していただけよう努めてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和 6 年 1 月 22 日

アンケート期間:令和 5 年 10 月 1 日 ~ 令和 5 年 12 月 29 日

事業所名 S.I.C.KIDS安城校

保護者等数(児童数) 27

回収数 20

割合 74 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	1				活動に集中できるような環境を整えてまいります。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	20				マンツーマンはありがたいです。	適切な配置の確保ができるように努めてまいります。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	1		4		ご利用者様が利用しやすいように設備を整えてまいります。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	20					ニーズや課題を明確にし、支援計画の作成を行ってまいります。
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	20					ご利用者様と相談の上、その時に合ったプログラムを作成していきます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2	7	8		利用者様からのご希望に応じてさせていただきます。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20					今後も丁寧な説明を心掛けてまいります。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19			1		保護者様と定期的に課題や現在の状況等の情報交換を行ってまいります。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19			1		モニタリングや個別の面談の機会を設けていきたいと思えます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	1		4		座談会等にて保護者様同士での相談もできる機会を作ってきたいと思えます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12			8	苦情がないので分かりません。	苦情がある場合は児発管が窓口となり、内容に応じて適切に対処してまいります。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20					職員とお話する機会をご利用時に設けさせていただいています。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	3		2		SNS、ホームページを中心に情報を公開させていただいています。今後も細かな情報を配信してまいります。
14	個人情報に十分注意しているか	20					外部に漏れないよう徹底して管理してまいります。	
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	3	1	3		ご利用者への周知不足でしたので周知していただけるよう説明する機会を設けてまいります。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	1	2	13	訓練が行われているか分かりませんが、見える位置に避難経路が提示されていて良いと思います。	お子様を含めた避難訓練計画を推進してまいります。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	18	2			スタッフの皆さんが優しく接してくれるので子どもが楽しく通えています。	これからもご利用者様が楽しめるよう努めてまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	20				いつも丁寧で適切な支援に感謝しています。	ご利用者様に満足していただけるよう努めてまいります。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。